

[専門教育科目/看護の統合と発展]

科目名	ナンバリング	区分(必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
他職種連携活動論	NSP21_005	必修	1	2	後期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
山崎 洋子 他	301	y.yamazaki	月曜日 12:10～13:00		
授業の目的・概要	多職種連携活動論は療養者のQOLを向上するために、多職種の連携・協働を図る必要性を理解し、専門職として必要な知識と技術を学ぶ科目である。医療・看護・介護・保健・福祉の連携・協働は、急性期看護、回復期看護、在宅看護及び公衆衛生看護の場において重要な課題である。本授業では、多様な関連職種の専門性を理解し、活動の場における看護職を取り巻く職種との連携・協働方法について同時双方向型授業や遠隔授業で学ぶ。				
学習上の助言	看護と関連の深い多様な専門職者の講義を受ける機会を設けている。貴重な学習の場を有効な学びにつなげることを期待する。				
教科書	地域連携論－医療・看護・介護・福祉の協働と包括的支援－ / 著:高橋敏士・武藤正樹 / オーム社 / 2019				
参考書	・多職種連携から統合へ向かう地域包括ケア / 著:宮下公美子 / メディカ出版 / 2017 ・多職種連携の技術(7-1)地域生活支援のための理論と実践/著:野中猛、野中まゆ / N/A研究会/中央法規出版/2014				
学生が達成すべき行動目標			関連卒業認定・学位授与方針		
①	多職種連携の概念と必要性について説明できる。		NS(5)		
②	保健・医療・福祉領域の連携に関わる主な職種と各職種の役割が説明できる。		NS(2)(4)		
③	連携に必要な理論と技術を理解し説明することができる		NS(5)		
④	事例を通して課題解決のために必要な職種と連携の形態を検討できる。		NS(5)		
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間(時間)		
1	多職種連携の概念及び基本理念 多職種連携の変遷・背景	同時双方向型授業	保健医療福祉分野の多職種連携についてまとめる。	1	
2	介護保険制度と多職種連携	同時双方向型授業	介護保険事業をポートフォリオとしてまとめる	1	
3	地域包括ケアでの多職種の連携	同時双方向型授業	地域包括ケアでの多職種の役割についてポートフォリオとしてまとめる	1	
4	地域包括ケアでの看護職の役割	同時双方向型授業	地域包括ケアでの看護職の役割についてポートフォリオとしてまとめる	1	
5	医療機関で行われている多職種連携	同時双方向型授業	医療機関での多職種連携と看護師の役割についてポートフォリオとしてまとめる	1	
6	医療機関等で働く多職種と看護師の役割と連携	同時双方向型授業		1	
7	地域連携における理学療法士と役割、専門性、活動の特性、連携の実際(ゲストレクチャー)	遠隔授業	予習:各職種の定義と役割を調べ、授業前に提出する。 復習:各職種の内容について、整理する。(ポートフォリオ作成)	1	
8	地域連携における作業療法士と役割、専門性、活動の特性、連携の実際(ゲストレクチャー)			1	
9	地域連携における社会福祉士・精神保健福祉士の役割、専門性、活動の特性、連携の実際(ゲストレクチャー)			1	
10	地域連携における薬剤師の役割、専門性、活動の特性、多分野との連携の実際(ゲストレクチャー)			1	
11	地域連携における管理栄養士の役割、専門性、活動の特性、多分野との連携の実際(ゲストレクチャー)			1	
12	退院調整看護師の役割、専門性、活動の特性、連携の実際(ゲストレクチャー)	同時双方向型授業	予習:退院調整看護師の役割を調べ、授業前に提出する。 復習:退院調整看護師について、整理する。(ポートフォリオ作成)	1	
13	退院支援と地域連携	同時双方向型授業	退院支援と地域連携についてまとめる。(ポートフォリオ作成)	1	
14	地域連携の実際と専門職	遠隔授業	講義をまとめる。	1	
15	まとめ	同時双方向型授業	これまでの講義・演習の振り返りを行う。	1	
試	定期試験・レポート提出・ポートフォリオ提出				

[専門教育科目/看護の統合と発展]

		達成度評価					
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		50	20	0	20	10	100
総合力指標	知識・技術力	30	5	0	0	0	35
	思考・推論・創造する力	10	10	0	10	0	30
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	5	0	10	10	25
	問題を発見・解決する力	10	0	0	0	0	10
評価のポイント							
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点				フィードバックの方法	
試験	①	✓	筆記試験とする。保健師国家試験への出題問題も範囲とする。				重要な箇所は授業中に示す。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
レポート	①	✓	記載内容の適切性を評価する。				最終講義で説明する
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
ポートフォリオ	①	✓	記録物等適切な収集・整理ができる。				最終講義で説明する。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
その他	①		出席日数と日々の受講態度等を総合的に評価する。				担当教員が気になる点があった際には、講義の中で随時伝えていく。
	②						
	③	✓					
	④						
備 考							
<p>担当教員：◎山崎 洋子、伊丹 幸子</p> <p>この科目は療養者がその人らしく生活していくために必要な看護支援を提供するために、看護職を取り巻く職種との連携方法について学ぶものである。担当教員が市町村、保健所等での経験を元に、今まで関わった事例紹介を行い、教科書や参考書にはない実践事例について説明し、多職種連携の必要性を理解できる授業とする。</p> <p>毎回講義に出席し、積極的な態度で授業に臨むことを重んじる。原則として、理由のない欠席はしないよう心がけること。学生の理解度に応じ、講義の速度や順番を調整する可能性がある。</p> <p>看護の対象者がその人らしく生活できるように多職種連携は必須である。協働する多職種の専門性や活動特性を知ること、効果的な看護実践につながる。多職種で構成するチームで仕事をするという意味を考え、看護職の役割を理解する。</p> <p>Teamsを使った同双方向型授業を実施するため、通信容量無制限のWifi環境を推奨する。</p> <p>今後、新型コロナウイルス感染症の状況により、シラバス内容が一部変更となる可能性がある。</p>							